

心臓手術を受ける方へ

心臓手術を受ける際の入院から退院までの流れを説明します。

1.手術までに必要な検査(手術を安全に行うために必要な術前検査)

〔外来〕

採血、レントゲン、心電図、心臓超音波検査、CT 検査(頭、胸から鼠径部まで)、ABI(足の血流評価)、頸動脈超音波検査、経食道心臓超音波検査(僧帽弁形成術の際に必要)

〔入院〕

心臓カテーテル検査 2泊3日(心臓 CT にて代用することがあります)

2.入院日

手術の2日前、若しくは5-7日前(抗血小板薬や抗凝固薬の内服している方は、薬剤の調整が必要なため)に入院します。

3.手術前日

手術創部を清潔に保つため、シャワーに入ります。

麻酔科医より麻酔に関する説明があります。

風邪による高熱や、感染がある場合は手術を延期することもあります。

4.手術日

■術前

朝から点滴を開始し、手術室へ行きます。

手術室に入ったら、手術台に横になっていただき、点滴から麻酔薬を注入します(麻酔導入)。

深い麻酔のため(全身麻酔)、呼吸を補助するために口から気管へ管を入れ、人工呼吸器で呼吸を管理します(挿管管理)。

首の頸静脈から 1-2 本のカテーテルを挿入します（このカテーテルは、心臓内の圧を測定したり、お薬を投与したりするために使用します）。

準備ができれば、体位を整え、清潔な布をかけて手術が始まります。

ここまで、手術室に入ってから約 1 時間程度かかります。

■手術

手術手技によって手術時間は前後しますが、心臓弁膜症手術や冠動脈バイパス手術は約 5-6 時間程度、大動脈手術は 6-8 時間程度かかります。

■術後

手術が終わったら、体をきれいに拭き、レントゲン撮影を行い、手術した部位に異常が無いかを確認します。

手術台から集中治療室(ICU)のベッドに移床し、手術室の隣にある ICU へ搬送します。

ICU へ着いたら人工呼吸器や心電図などの各モニター、点滴、手術部位に挿入した管（ドレーン）等を整えます。（30分から1時間程度かかります）

準備ができ次第、ご家族に面会していただきます。

手術室に入ってからご家族に面会して頂くまでは、手術時間+1.5~2時間 かかります。
また、面会して頂くときには全身麻酔が効いている状態です(挿管し、人工呼吸管理を行っているため、意識はまだありません)。

体温、出血、呼吸、血圧、尿の出方、その他の状態(採血データ等)が安定したら麻酔を少しずつ覚ましていきます。麻酔から覚め、口の管が抜けるのは、順調にいつて手術日の夜間から翌朝にかけてです。これは患者さんの年齢、術前の状態、手術の術式、手術後の状態等によって異なります。

5.集中治療室(ICU)での管理

手術部位に挿入した管（ドレーン）や点滴が抜けるまでは ICU で管理します。

術後の状態にもよりますが、約 4-7 日間 ICU での管理を要します。

状態を見ながら食事を開始し、リハビリを行っていきます。早い人だと 1 日目には食事を開始し立位リハビリを行い、2 日目には ICU 内の歩行リハビリを行っていません。心臓リハビリを専門のリハビリ士（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）がメニューを組み立てて行っています。

6.一般病棟での管理

必要な検査を行い(採血、レントゲンは 2-3 日毎。心臓超音波検査、CT 検査等)、薬剤の調整等を行います。

リハビリも継続して行います。主には歩くこと、日常生活に戻ることが目標です。

創部の状態が安定した 7-10 日目にはシャワーに入ります。

年齢、術式、体力にもよりますが、術後 2 週から 3 週程度で退院可能です。

7.外来通院

退院後 2-3 週後に外来受診していただき、薬剤調整を行っていきます。

8.連絡先

上記内容について質問がある場合は、下記まで連絡してください。

住所：〒819-8511 福岡県福岡市西区石丸 3-2-1

名称:社会医療法人財団白十字会白十字病院 心臓血管外科

電話：092-891-2511